

## 四大ダムツアー開催

8月4日、矢作ダム・小里川ダム・阿木川ダム・大井ダムの各管理所の協力により、市内四大ダムツアーが開催され、約70人が参加しました。

市内には大小13のダムがあり、全国でみると7番目に多い市となります。

この日は30℃を越す真夏日となりましたが、ダム堤体の中は年間を通して20℃前後と涼しく、参加者からは「寒いくらいに涼しい」と思わぬ避暑地に驚いていました。



大井ダム発電所を見学する参加者たち

## お相撲さんと「はっけよい!」



果敢に攻めるも力士に簡単に持ち上げられる園児

8月1日、明智町千畳敷公園春日野記念相撲場で、夏合宿を行っている入間川部屋の力士と園児の交流会が開かれました。明智保育園の年長組25人と吉田保育園の園児17人が、4～5人ずつ束になって力士と相撲に挑戦。周りの園児から「頑張れ!頑張れ!」の声援の中、園児らは力いっぱい力士に向かいました。明智町出身の恵那司(水野千浩さん)に1人で挑戦した園児は「大きくて強すぎるよ」と言いながらも、果敢に何度も向かっていきました。

## すみ が せ や な 園児を澄ヶ瀬築へ招待



大きなアユをおいしそうにほお張る園児たち

8月1日、上矢作町の「澄ヶ瀬築」がオープンし、今年も上矢作保育園の園児が招待されました。澄ヶ瀬築は、昭和62年から澄ヶ瀬築組合(松岡昭雄会長)の組合員21人で運営されており、毎年県内外から多くの人々が訪れ、夏の矢作川の清流を楽しんでいます。この日訪れた園児は、用意されたアユを実際につかまえたり、水遊びを楽しんだりしたあと、焼きたてのアユを味わい「頭も全部食べちゃった」と味に満足気でした。

## 新しい図書館を知ろう

7月25日、市中央図書館で公民館講座「新しい図書館へ行ってみよう!」が行われ、小学生21人が参加しました。館内ツアーでは、普段入れない閉架書庫で、多くの蔵書や昔の新聞などを見学し、児童らは興味津々。また読書テラスでは図書館クイズを出題。一般閲覧室で本の分類問題や、本に載っている「ハジカミ」の写真が何ページにあるのかを探す問題に、児童らは分類の索引やパソコンでの検索を実際に体験しながら、一生懸命問題を解きました。



パソコンでの本検索を初めて体験する児童たち

## 地震に備え家具転倒防止

市では災害に強いまちづくりを目指し、7月から10月にかけて市内の高齢者世帯を中心に家具転倒防止ボランティア作戦を実施しています。

7月29日には山岡町、明智町、串原で、8月19日には三郷町、武並町、笠置町、中野方町、飯地町で行なわれました。現場では、消防団員の皆さんが手際よく作業を進めていました。

9月は岩村町、上矢作町を、10月は大井町、長島町、東野を予定しています。



家具転倒防止作業をする消防団員の皆さん

## 初めての陶土でお面づくり



自由な発想で楽しそうにお面を作る児童たち

7月19日、岩邑小学校3年生52人がお面づくりに挑戦しました。これは山岡陶業センターが、子どもたちに陶土を実際に触れて物作りを体験してもらおうと同校と計画。当日は講師の指導のもと、児童らは陶土を伸ばしながら、思い思いのお面づくりに取り組みました。鈴木梨生くんは、「初めてかまった土だけど、すぐ乾いてパサパサするから不思議な粘土って感じがした。お面は変な宇宙人。出来上がりがすごく楽しみ。」と楽しそうに作っていました。

## 流木の再資源化のPRに



逃げ回るアユを必死でつかまえた子ども

7月21日、奥矢作湖炭やきの里で「炭やき祭」が行われました。これは、矢作ダムの水源である長野県平谷村、上矢作町、豊田市旭など6地区で構成する矢作水源フォレストランド協議会が、ダムに集まる流木を炭で再資源化し、炭を身近に利用してもらおうと昨年からの開催。当日は、矢作川漁業組合から提供されたアユ450匹のつかみ取りや炭絵コンテスト、矢作ダム見学、奥矢作湖のクルージングなどが行われ、多くの親子づれでにぎわいました。

中山道広重美術館  
企画展覧会

開館6周年記念特別企画展

【市民観覧無料】

## 木曾海道六拾九次之内 違いを楽しむ



渓斎英泉「木曾街道続ノ壺 日本橋雪之曙」  
大判錦絵 保永堂（初摺）



無款( 溪斎英泉 )「木曾街道続ノ壺 日本橋雪之曙」  
大判錦絵 錦樹堂（後摺）

中山道広重美術館が誇る「木曾海道六拾九次之内」(田中コレクション)。その神髄ともいべき集積を2003年収蔵作品とともに3期に分けて展示します。

この展覧会の期間、市民の皆さまには観覧料無料でご覧いただくことにしました。これは、開館時より美術館を支えてくださった皆さまに感謝の意を表すとともに、質・量ともに充実したこのコレクションの意義を再認識し、地域の芸術文化の振興やまちづくり活動の推進を目的とする当館の在り方を考えていこうとする試みとして行うものです。

### 「木曾海道六拾九次之内」

保永堂版「東海道五拾三次之内」の大ヒットを受けて企画された、中山道の板橋から大津までの69宿を描いた69点に、起点である日本橋を加えた70図からなる揃物です。このシリーズは、前出「東海道五拾三次之内」と並び歌川広重の代表作ですが、初期の24図は美人画などで

有名であった溪斎英泉が手掛け、広重はその後を受け継いで46図を仕上げたといわれています。

### 違いを楽しむ

今回の展覧会の副題を「違いを楽しむ」としました。木版画は、版を重ねるうちに版木が摩滅したり、欠損したりします。そのため、新しく良い状態のときにすられたもの(初摺)と、悪い状態の版木ですったもの(後摺)があります。さらに、なんらかの事情により版に変更が加えられ、初摺とは図柄が異なる「異版」というものもあります。

本展覧会では、田中コレクションの寄贈者である田中春雄氏が、このシリーズに興味を駆られて121点収集されたように、同じ図でもすられた時期によって生じる、それぞれの違いや魅力をお楽しみいただこうと思えます。何度も足を運んで、ゆっくり作品と向かい合ってみてください。

特別企画展関連事業を開催。詳細は、8ページをご覧ください

### 中山道広重美術館 市民無料観覧券

特別企画展「木曾海道六拾九次之内-違いを楽しむ-」

この券に必要事項を記入し受付にお示しください。

市民は期間中無料で観覧できます。

有効期間 平成19年9月6日～11月25日

記入事項 お住まいはどちらですか(をつけてください)

大井町・長島町・東野・三郷町・武並町・笠置町・中野方町・飯地町・岩村町・山岡町・明智町・串原・上矢作町

切り離して使用ください。この券は美術館受付にも用意しています。

会期 9月6日(木)～11月25日(日)

開館時間 午前9時半～午後5時  
(入館は午後4時半まで)

観覧料(市民は観覧無料) ▷一般=800円(団体650円) ▷小・中・高校生=500円(団体400円)

毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館

9月3日(月)～5日(水)は展示替えのため休館

## 流しそうめん “涼”

大井町まちづくり協議会(小椋一郎会長)では8月11日、大井小学校で「流しそうめん大会」を開催しました。同協議会は、安全で安心できるまちづくりを目指して活動しており、今回は大人と子どもの交流の場として企画、児童や保護者約100人が参加しました。流しそうめんでは、おわんを持った児童らが、流れ落ちるそうめんに何度もはしを伸ばしていました。このほかにも、竹馬や竹製の水鉄砲など昔ながらの遊びを地域住民と一緒に体験しました。



用意された15碗の竹製椀「上手に食べられるかな？」

## 外国人に接して人権を考える

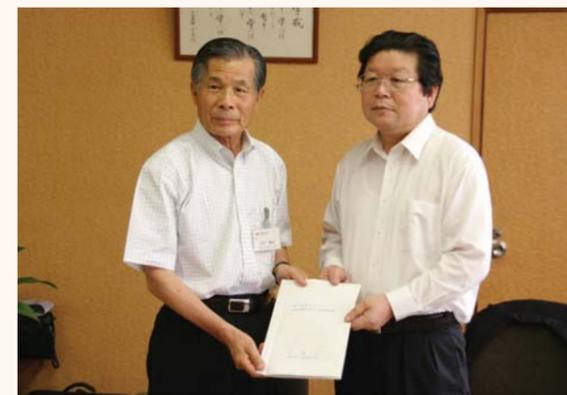


外国人収容施設での暴行や虐待の実態を訴える山村氏

8月5日、恵那文化センター集会室で、明智町出身の内科医師である山村淳平氏の講演会「国内外の外国人に接して」が開催され、市内外から約200人が訪れました。山村氏は、横浜市港診療所に勤務する傍ら、難民問題や外国人医療問題、入管収容問題に取り組んでおり「軍事政権のような弱者を拒むような社会ではなく、力のある者が力のない者に施す社会を目指したい」と語り、来場者はうなずきながら真剣に耳を傾け、人権や社会問題を考えました。

## テクノパーク第3期拡張決まる

現在、13企業が操業している武並町竹折の恵那テクノパークで第3期拡張が決まり、8月22日に恵那市と岐阜県土地開発公社(薫田大二郎理事長)が東濃振興局恵那事務所長の立ち会いのもと基本協定書に調印しました。今回の拡張で6.8㏊を2区画に分けて分譲するほか、併せてアクセス道路の整備も行う予定です。調印式で可知市長は「定住人口の拡大につながるよう分譲価格を抑え、来年度以降早期に分譲を開始したい」と意気込みを語りました。



協定書を交わす薫田理事長(左)と可知市長(右)

## 恵那市を縦断てくてく旅



みの、かさを身に付け岩村城址を歩く参加者

8月6日～8日、恵那市内を徒歩で縦断する「第1回恵那てくてくの旅」(社)恵那青年会議所主催)が開催され、市内の小学生約75人が参加しました。児童らは、老人クラブの皆さんが作ったみのやかさを身に付け、班毎に旗を先頭にして行動。中野方小学校を出発し、大井小学校、岩邑小学校に宿泊しながら、笠置山、中山道大井宿、阿木川ダム、岩村城、飯高観音などを経由し、明智かえでホールまで約50㏊の道のりを2泊3日で歩きました。